勝毎杯アイスホッケーBプール

1部 KS―ROYALS初V

小森が5得点 大上電気工業振り切る

アイスホッケーの第17回十勝毎日新聞社杯争奪社会人Bプール大会は4日、帯広の森アイスアリーナで1部の決勝を行った。FW小森裕司主将が5得点を挙げたKS―ROYALSが粘る大上電気工業を第3ピリオドに振り切り、9―6で勝利して初優勝を飾った。（古川雄介）

＜1部＞◇決勝

KS―ROYALS 9（2―1、3―2、4―3）6 大上電気工業

▽得点者【K】①梶原→小森（1P4分50秒）②小森→菱沼（1P11分26秒）③菱沼→小森（2P4分4秒）④佐藤憲→菱沼→小森（2P6分33秒）⑤小森→山田→菱沼（2P14分47秒）⑥佐藤憲→小森（3P5分46秒）⑦三浦→佐藤憲→小森（3P9分59秒）⑧小森→古賀（3P11分47秒）⑨佐藤祐→宮崎（3P13分44秒）【大】①山本→佐藤→熊谷（1P13分35秒）②熊谷→山本（2P9分41秒）③山本→古川→佐藤（2P11分4秒）④北原→大上（3P2分42秒）⑤古川→佐藤→熊谷（3P4分31秒）⑥三浦達（3P13分54秒）▽反則【K】4（河野、小森、石川、上田）【大】5（熊谷3、圓藤、三浦達）▽シュート数【K】42（12、14、16）【大】26（7、9、10）▽審判＝笹村、阿久津、佐藤

【1部決勝・KS―ROYALS―大上電気工業】第2ピリオドに鋭い突破からゴールに迫るKS―ROYALSの(66)小森裕司。5得点でチームを勝利に導いた

スピードとパスの正確さで上回るKS―ROYALSは第1ピリオド4分50秒に速い展開からFW小森が先制弾。11分26秒には小森のシュートリバウンドをFW菱沼が押し込み加点。第2ピリオドは14分47秒に4人対4人から菱沼のゴールで5点目。第3ピリオドは立ち上がりの2失点でいったんは同点に追いつかれたが、得点機を確実に生かして小森が2得点を決めて突き放した。

大上電気工業は速攻から反撃して粘ったが、ペナルティーなどで波に乗り切れず、終盤の連続失点で集中力が途切れた。

KS―ROYALS 新チームまず1冠 手応えを得て会長杯へ

「やっぱり気が合うしやりやすいね」。1部を制したKS―ROYALSは今シーズン新しくできたチームだが、一昨年のシーズンを最後に解散した強豪のノースカウボーイズの選手たちが中心となって結成された。主将の小森裕司は昔からの仲間と新メンバーでつかんだ勝利に笑顔を見せた。

それぞれ別のチームでやりたいという思いからいったんは解散したが、1シーズン置いて再び集まることになった。メンバーの半数は元チームメートだが、Aプール・タダノCRANESから移籍した菱沼直樹や3人の現役高校生など6人が新加入。新チームとして再出発を切った。

「年齢も幅広くなり、全く違うチームになっていた」と選手兼監督の石川彰一。決勝でもパックを奪ってからの展開が速く、相手ディフェンスが布陣する前にゴールまでつなげた。5得点の小森も「みんなで守って攻める全員ホッケーができた。パスがうまい人が多いし合わせるだけだった」と手応えを得た。

ベテランも多いがプレーには新しいチームらしい若々しさがあふれている。次戦の会長杯に向けて小森は「もちろん（優勝を）取っていきたい」と2冠を狙う決意だ。

初優勝を飾ったKS―ROYALS

きょうの勝因

1部・KS―ROYALSのGK藤井大樹（17） 今回の勝因はわたしたちが冷静で格好よくて、強いから！ あと、チーム全体がヤル気になったからです。

会長杯でも決勝へ

準優勝の大上電気工業・大上真一主将の話 追いついたまではよかったが、反則が多くて流れをつかみ切れなかった。相手に合わせてしまう部分があったので、もっと最初から自分たちのペースでゲームができればよかった。強いチームは多いが会長杯も決勝まで残りたい。

神谷（帯二3年）女子千・五百決勝へ

男子三千 山下 男女千五百 渡部、柏葉らも

全国中学スケート

【苫小牧】スケート・アイスホッケーの第27回全国中学校大会（日本中体連など主催）第3日は5日、苫小牧市内で各競技を行い、十勝勢が出場するスピード競技は高丘ハイランドスポーツセンター、フィギュア競技は白鳥アリーナで行われた。スピード競技は午前の男子三千㍍予選で山下智司（帯八3年）が十勝勢トップの4分13秒52で6位、女子千㍍では神谷衣理那（帯二3年）が1分26秒14の1位でそれぞれ決勝進出を決めた。4日のスピード競技は男子千五百㍍予選で渡部知也（豊頃3年）が2分2秒06、女子同で柏葉みさき（帯二3年）が2分12秒23でそれぞれトップ通過。女子五百㍍予選では1位の神谷から5位まで十勝勢が占め、男子同でも山本敏史（更別中央3年）が3位通過を決めるなど好調。フィギュア競技ではBクラス予選A組の多賀谷麻央（帯四3年）が7位で決勝進出を決めた。（宮木宗久、山下僚）

【男子三千㍍予選4組】山下智司（帯八）は最後までラップを落とさず、6位で決勝進出を決めた

最終周で先頭へ「展開には満足」

○…5日午前の男子三千㍍予選では、前日の五千㍍予選に続き、山下智司（帯八3年）が4分13秒52の6番手タイムで決勝進出を決めた。

4組の山下は4周目で責任先頭を果たし、一度後ろに下がって体力を温存した後、最終周で再び先頭に立ってフィニッシュ。午後に五千㍍決勝を控えていることもあり、各組ともスローペースの展開だったが「決勝のことは考えず、三千㍍予選突破を意識したタイムを狙った滑りができた。レース展開には満足」と笑顔を見せる。

五千㍍ではチームメートの中川敬（音更3年）が全道大会で優勝しているため、「自分にも刺激になった」と話す。決勝での目標は「8位以内」と控えめだが「ラップを落とさないよう集中して臨みます」と積極的なレース展開を誓っていた。

転倒うまく回避 終われば2秒差

○…男子千五百㍍4組の渡部知也（豊頃3年）は、スタート直後に転倒者に巻き込まれそうになりながらもうまく避け、2分2秒06のトップタイムで決勝進出を決めた。

昨年は全道大会千㍍決勝、全国大会千五百㍍予選と転倒には苦い思い出があるだけに「昨年の自分を一瞬思い出してしまったが、落ち着いて避けることができた」とほっとした表情。

転倒を避けた後は一気に前に出て責任先頭を果たし、後続の中村奨太（安平早来1年）にポイントを1回譲るなど余裕を見せながらも終わってみれば2位に2秒差と力の差を見せつけた。

千五百㍍では決勝に向け好スタートを切ったが、千㍍では昨年の真駒内選抜で敗れている中村駿佑（同3年）ら強豪ぞろい。「ずっと全国を狙って練習から全力で取り組んできた。力を出し切るだけ」と気合が入っている。

【男子千五百㍍予選4組】トップタイムで決勝進出を決めた渡部知也（豊頃）

幼なじみの2人 好位置で決勝へ

○…男子五百㍍予選では更別中央3年の山本敏史が3位、梶浦宏喜が4位と、ともに幼稚園時代から競い合ってきた2人が好位置につけた。

1組の山本が39秒94の好タイムを出せば、9組の梶浦も負けじと序盤から飛ばして自己ベストに迫る40秒18をマーク。決勝では着順の関係で同組になるかと思われたが、同校対決を避けるため別の組に決定し、「普段と違う雰囲気でレースができたので楽しみにしていただけに複雑な気持ち」と口をそろえる。

全道大会では山本が3位、梶浦は6位と2人そろっての表彰台は逃したこともあり、「最後の全国中学では一緒に表彰台へ上りたい」と互いの健闘を誓い合っていた。

【男子五百㍍予選9組】序盤から先頭に立ってレースを引っ張った梶浦宏喜（更別中央）

スタミナ強化 自信のぞかす

○…女子五百㍍と千㍍で2年連続2冠を狙う神谷衣理那（帯二3年）は五百㍍予選43秒06のトップタイムにも「風があったのでもっと姿勢を低く滑りたかった。タイムもあまり良くなかった」と納得のいかない様子だ。

今季は柏葉みさき（同）ら長距離が得意なチームメートとともに、多い時にはリンクを50周するなどスタミナ重視の練習を行ってきたことから、「千五百㍍でもしっかりと乗れるようになってきたので、後半でもタイムが伸びるようになってきた」と厳しい練習で培ってきた自信をのぞかせる。

今大会までの調整も順調に進み、最後の全国中学に懸ける思いも強い。「両種目ともタイム、順位ともにベストな結果を」と決勝に向け、気持ちを集中させていた。

感謝秘め全力出す

女子千五百㍍、同三千㍍の両予選をトップ通過した柏葉みさき（帯二3年）の話 今回は気負いもなくいつも通りに臨めた。決勝では指導者や両親、友人など応援してくれた多くの人への感謝の気持ちを胸に、自分の力を出し切って結果を残したい。

順位にほっと

フィギュア競技の女子Bクラス A組7位で決勝進出を決めた多賀谷麻央（帯四3年）の話 ジャンプのフリップとサルコーの着地が不安定になるなどミスがあったので、もっと順位が悪いと思っていたのでほっとした。決勝ではグループの最後なのでしっかりとアップして体を冷やさないようにして、自分が満足できて楽しい演技をしたい。

スピード

（5日・10位以下関係分）

【男子】◇予選▽三千㍍＝①由井大陽（長野・川上）4分11秒67②黒岩紘岳（群馬・嬬恋西）4分12秒01③荒木琢（穂別）4分12秒03④太田中仁志（青森・八戸是川）4分12秒09⑤本間勇太（釧路鳥取西）4分12秒83⑥山下智司（帯八）4分13秒52⑦松井宏佑（清里）4分13秒91⑧石原大暉（長野・軽井沢）4分13秒96⑨進藤隆一（山梨・泉）4分14秒17⑫宗宮紘汰（更別中央）4分17秒05⑱中川敬（音更）4分19秒31㉑野尻涼太（駒場）4分20秒22・以上決勝進出㉗高浪健太（札内東）4分22秒52㉘川端敬太（更別中央）4分24秒17㉟山口智章（帯七）4分28秒30㊳今泉翔太（帯三）4分39秒51㊶小形祐治（札内）4分49秒29・以上ポイント完了(65)松川綾太（駒場）4分44秒49

（4日）

【男子】◇予選▽五百㍍＝①中村駿佑（安平早来）38秒83②田中穣（根室厚床）39秒69③山本敏史（更別中央）39秒94④梶浦宏喜（同）40秒18⑤田名部佳希（青森・八戸第一）40秒20⑥黒岩聖矢（群馬・嬬恋西）40秒21⑦小室拓也（芽室西）40秒28⑧佐々木一馬（別海中央）40秒38⑨内海潤（上士幌）40秒41⑩三輪準也（札内）40秒45⑬加藤佳男（仙美里）40秒66⑭大谷圭汰（豊似）40秒90⑮三塚優也（下音更）40秒93・以上決勝進出㉜田中康裕（駒場）41秒84㉝林央平（芽室西）41秒91㊶紺野潤平（帯緑園）42秒34㊾村上右磨（豊頃）1分1秒15▽千五百㍍＝①渡部知也（豊頃）2分2秒06②中村奨太（安平早来）2分4秒46③大和田真（仙美里）2分4秒65④岸田昌也（上浦幌）2分5秒34⑤山川智大（駒場）2分5秒60⑥石原大暉（長野・軽井沢）2分6秒34⑦佐藤裕太（青森・下田）2分6秒42⑧三澤拓郎（長野・上諏訪）2分6秒71⑨栗原功基（長野・茅野東部）2分7秒30⑬野尻涼太（駒場）2分10秒05⑯磯賢汰（更別中央）2分12秒07⑱七田悠大（足寄）2分12秒71⑲松田俊哉（糠内）2分12秒84㉒小形祐治（札内）2分17秒78・以上ポイント完了、決勝進出㉛川端敬太（更別中央）2分8秒90(56)佐藤裕太（清水）2分21秒68

【女子】◇予選▽五百㍍＝①神谷衣理那（帯二）43秒06②髙橋菜那（帯南町）43秒35③永田希絵（池田）43秒39④関口莉菜（芽室）43秒50⑤土田泉（屈足）43秒75⑥辻中杏奈（長野・塩尻）43秒76⑦古谷遥香（訓子府）43秒82⑧井上瑞穂（群馬・長野原西）43秒99⑨渡邊このみ（山梨・下吉田）44秒15⑪柏崎有砂（帯一）44秒63⑯押切美沙紀（中札内）44秒76⑲勾坂美稀（清水）44秒88㉑遠藤あや（共栄）44秒97㉒葛西美嘉（池田）45秒22・以上決勝進出㉕澤田芽依（中札内）45秒78㉛松田早幾（帯西陵）46秒31㉜小室理穂（芽室西）46秒43㊹松井綾花（豊頃）50秒41(68)辻本有沙（札内東）1分2秒98▽千五百㍍＝①柏葉みさき（帯二）2分12秒23②門奈津実（札内東）2分13秒27③漆川衿菜（更別中央）2分13秒49④森永美波（苫小牧光洋）2分13秒70⑤池上真以（長野・長峰）2分14秒16⑥石川陽向子（別海中央）2分14秒19⑦福地加奈（駒場）2分14秒41⑧荒木梨沙（安平早来）2分15秒14⑨阿部友香（同）2分15秒29⑫高木菜那（札内）2分16秒46⑭阿部美沙希（更別中央）2分17秒18⑰川口愛莉（豊頃）2分18秒74⑳秋山佳菜（札内）2分18秒99㉑佐藤志保（清水）2分19秒07㉔森田明水（上士幌）2分21秒66・以上決勝進出㉖谷垣彩香（下音更）2分23秒32㉘新田萌（帯七）2分23秒97㉙松田彩花（糠内）2分25秒82・以上ポイント完了㉞山田鈴奈（下音更）2分19秒96㊲石田真梨（池田）2分23秒34㊳高山夏季（駒場）2分23秒47㊵伊藤優奈（上美生）2分23秒76㊹濱田真子（緑南）2分25秒27㊽山下裕未（帯八）2分30秒52▽三千㍍＝①柏葉みさき（帯二）4分34秒05②小坂まりも（小清水）4分37秒77③荒木梨沙（安平早来）4分38秒47④漆川衿菜（更別中央）4分38秒71⑤川口愛莉（豊頃）4分39秒95⑥門奈津実（札内東）4分40秒04⑦小柏真里奈（長野・川上）4分40秒06⑧福地加奈（駒場）4分40秒15⑨山下裕未（帯八）4分40秒68⑭谷垣彩香（下音更）4分46秒42⑮森田明水（上士幌）4分46秒67⑯伊藤優奈（上美生）4分46秒71⑲高畑優貴（札内）4分47秒63⑳新田萌（帯七）4分48秒20㉒阿部美沙希（更別中央）4分53秒75㉓山田鈴奈（下音更）4分53秒85㉔濱田真子（緑南）4分54秒50・以上決勝進出㉗佐藤志保（清水）4分54秒93・以上ポイント完了㉚松田彩花（糠内）4分54秒32㉜秋山佳菜（札内）5分4秒18㉟高山夏季（駒場）4分48秒64(54)石田真梨（池田）5分49秒52

フィギュア

（4日・関係分、順位点）〈予選〉【女子】◇Bクラス▽A組＝⑦多賀谷麻央（帯四）3・5

ばんえい競馬・黒ユリ賞

ニシキガール重賞制覇

大友調教師、藤野騎手の地元コンビ

ばんえい競馬帯広開催は4日、重賞レース（BG2）の第32回黒ユリ賞（3歳牝馬オープン、十勝馬事振興会会長賞、道市営競馬組合管理者賞）を行い、これまで牝馬の特別レース2つを制して好調なニシキガール（大友栄人調教師・帯広、藤野俊一騎手・帯広、馬主は仙頭富萬さん・網走管内湧別町）が快走で重賞初制覇を飾った。タイムは2分11秒6。2位にも帯広在住の調教師・騎手コンビのヤマトナデシコ（同調教師、藤本匠騎手）が入った。（横田光俊）

第2障害を真っ先に降りて快走するニシキガール（藤野俊一騎手）

リーディングトップの藤野騎手 大一番で会心騎乗

ばんえい競馬帯広開催後半戦で重賞レースのトップを飾る「黒ユリ賞」は3歳牝馬の最強を決める戦い。第2障害を先頭で降り、快速を飛ばしてゴールした藤野俊一騎手は最高の笑顔を見せた。

「馬は好調だったが、自分は…」と、今季のリーディングトップを走りながらこの2日間、なかなか1位を取れなかった。しかし、ばんえい最高峰の「ばんえい記念」で昨年まで2連勝（通算同記念で4勝）のエースジョッキーはここ一番に強かった。

「ニシキガールは障害を越えてくれたらそのまま行ける馬。普段通りの騎乗だった」と気合のこもったいつもの騎乗で一気に走り、一番人気のプリンセスモモなどをはるか後ろに置き去りにして会心の勝利を収めた。

藤野騎手に勝利を託した大友栄人調教師は「ニシキガールは（ばんえい全体の）3歳牝馬の稼ぎ頭。これで牝馬の特別賞、重賞3つを全部制した」と、勝利した3レースすべてを藤野騎手に任せての勝利に喜んだ。

帯広在住の藤野騎手は、地元ファンの声援がうれしい。「次（11日）の重賞ポプラ賞も頑張ります」と力を込めた。

ニシキガールと藤野俊一騎手（左端）、馬主の仙頭富萬さん（左から2人目）、大友栄人調教師（馬の右）ら

◇ばんえい競馬　帯広第7回・2日目（4日・曇り）

							枠複	馬複	馬単
1R	オオノトップ	（大河和）単	340	複⑤ 190	⑧ 230	⑦ 220		⑤⑧ 1030	⑤⑧ 1860
2R	カツハヤブサ	（安部憲）単	470	複⑦ 180	② 610	⑨ 140	❷❼ 10740	②⑦ 6280	⑦② 10020
3R	アアモンドヤワラ	（竹ケ原）単	540	複⑨ 230	① 890	⑥ 410	❶❽ 3150	①⑨ 13410	⑨① 26580
4R	フナノヨッチ	（藤本匠）単	670	複② 240	① 180	⑦ 230	❶❷ 1020	①② 1000	②① 3630
5R	ハルカスピード	（西　謙）単	300	複⑤ 140	⑨ 190	⑩ 120	❺❽ 490	⑤⑨ 940	⑤⑨ 1510
6R	シュンライズ	（細川弘）単	690	複⑤ 170	② 210	⑧ 100	❷❺ 2480	②⑤ 2730	⑤② 5050
7R	キタノゴウキ	（入澤和）単	1930	複① 360	⑤ 150	④ 180	❶❺ 2350	①⑤ 2050	①⑤ 5500
8R	ニシキシャープ	（藤本匠）単	320	複① 150	② 220	⑦ 130	❶❷ 1520	①② 1540	①② 2370
9R	ヒカルヨシウメ	（鈴木勝）単	1940	複⑦ 490	⑧ 370	③ 170	❼❼ 5560	⑦⑧ 5270	⑦⑧ 9350
10R	ヤマノミント	（細川弘）単	1880	複⑦ 570	⑩ 210	⑤ 190	❼❽ 1380	⑦⑩ 5340	⑦⑩ 9070
11R	ニシキガール	（藤野俊）単	450	複③ 220	⑧ 190	② 440	❸❼ 1260	③⑧ 1780	③⑧ 3290
12R	キクノルーラ	（鈴木勝）単	220	複① 110	② 350	③ 150	❶❷ 1450	①② 1500	①② 2190

▽競走除外（5R）アアモンドクリヒメ
▽売り上げ　1億744万円
（水分5・6～4・9％）

※競馬の出走表・成績は主催者発行のものと照合・確認してください